

和歌山県有田郡湯浅町

湯浅の若者と共につくる本気の商品開発！



【活動の基本情報】

参加学生数:7名

(1年生:2名、2年生:3名、3年生:2名)

活動期間:2023年5月~2025年1月

担当教員:山岸大二郎、岸上光克

1. 活動実施の経緯

湯浅町は人口1万人の小さな町だが、醤油産業発祥や金山寺味噌などの発酵文化のメッカであり、有田みかんなどの柑橘類をはじめとした農作物や、県内屈指の漁獲量を誇るシラスやワカメ、全国でも有名な紀州鴨の養鶏場があるなど、第一次産業の魅力に溢れた地域である。ただ人口減少が進み、地域の若い担い手も減っており、地区内の住民だけでは新たな取り組みがなかなか生まれていないのが現状である。地域外の人や若者との接点を増やすことで新たな視点と繋がりが増え、衰退していく地区の新たな取組の一步になると考え、その目的を達成するために湯浅町の田村地区の若者がつくった任意団体「田村協議会」がある。本プログラムは、田村協議会のメンバーと協働で商品開発に取り組んだ。

2. 活動の内容

地域内の若者と連携し湯浅町の新たな商品開発に向けて活動してきた。元々、ふるさと納税の商品開発を目指していたが、ふるさと納税制度が変化したことから、昨年度開発したハンバーグの販売方法をふるさと納税に限らず、オンラインショッピングやイベント出店などで販売できるように取り組んできた。土産物や特産品のオンラインショッピングの利用動向を探るために、アンケート調査なども実施した。その結果をもとに、受け入れ地域の担当者らと協力して、イベント出店や販促の戦略を立てることを行った。

3. 活動を通じて

実際にマーケティングなどの経験のある地域の若者から、マーケティングや商品開発におけるプロセスを学ぶことができた。また、大学での週1回のミーティングを通して、学生間のチームワークを強め、プロジェクトを協働して進めることができた。さらに、地域に足を何度も運ぶことで、地域との連携を深めることができ活動の支援を活動の関係者外からも得ることができた。残念ながら、計画通りに進まないことも多々あったが、活動を通して、商品開発の難しさを実感するきっかけとなった。

4. 成果ポスター

YUASA-CHO LPP

2025年度 LPP合同報告会

2025年1月30日

湯浅の若者と共につくる本気の商品開発！

活動内容

今年度は新規メンバーに湯浅町を知ってもらうために和歌山県内では唯一である重要伝統的建造物群保存地区や湯浅醤油の醸造蔵などを訪れました。湯浅町の歴史を学ぶことができました。また、湯浅まつりにも参加し、昨年度よりも地域の人と多く関わることができました。地元にはないような地域の人が積極的に参加する祭りに行くことができ、地域についてより深く知ることができました。

また、今年度はXのアカウントを開発し、ネットショッピングと梅干しについてのアンケートを実施しました。アンケートからは、パッケージで重要視するポイントやふるさと納税を利用している年代などが分かりました。二回目の宿泊研修では、商品についての検討、イベントで出す金山寺ハンバーグを使ったロコモコやおにぎらずの試作をしました。

イベントでは、一年かけて開発した金山寺味噌ハンバーグを使ったロコモコなどを販売し、多くの方に食べていただきました。最初はふるさと納税の返礼品というコンセプトで行っていましたが、最終的にはイベントでの販売になりました。商品開発の難しさを学ぶ、学生も様々なことを学ぶことができました。

宿泊研修以外にも、週一回の定例会議を行い論文研究やイベントの予算調整、アンケート結果の分析などを行いました。毎週、ほとんどのメンバーが参加することができ、実践だけでなく学術的にLPPに取り組むことができました。その他にも、みかんの収穫のお手伝いにも3年生2人で行きました。農家さんのお手伝いを通して生を声を聞くことができ、農業に対する思いや地域の現状を知ることができ、LPPにも生かすことができました。今後も、2月に行われる柑食祭という多種多様な柑橘類が集まるイベントにも参加する予定です。

ネットショッピングで商品を選ぶ際最も重要視する項目は何ですか？

[[2024年10月31日調べ]]









FLAT_TAMURA

湯浅町の概要

和歌山県中部に位置する自然豊かな町。
みかんの生産はもちろんのこと、釜揚げしらすの生産地としても知られている。
また醤油発祥の地として知られ、醤油の醸造蔵や伝建地区を中心に観光地としても人気がある。

湯浅町LPPについて

1回生2人、2回生3人、3回生2人の計7人の少数メンバーで構成される、昨年から作られたLPP。湯浅町の農家さん（菅兵衛農園の井上様）の声掛けにより始まった。地域おこし協力隊の方とともに合宿やミーティングなどを通して企画を進めている。LPPとしてだけでなく個人の活動として湯浅に行くことも多く、湯浅愛が強い。

LPPメンバー：震田彩夏 今岡英穂 伊藤希 山本后春 西口真菜美 雑賀和 福林和歩



4. 2024 年度合同活動報告会の実施

2) 発表の実施報告

本会では、各報告時間に2プログラムずつ、別のエリアで発表を行った。当日の振り返りと報告のため、後日、各プログラムの発表の様子や、アンケートフォームで回収したご意見・ご質問に対する回答をまとめた報告書を参加学生が作成した。

和歌山県有田郡湯浅町

テーマ:湯浅の若者と共につくる本気の商品開発！

●報告について

報告会では、湯浅町の概要と一年間の活動を発表した。最後には、二年間の活動を振り返り、達成できなかった目標についても触れたが、試行錯誤を重ねながら良い形で活動を終わることができたと感じている。この発表を通じて、湯浅町の魅力や商品開発の難しさ、そして地域の人々との交流の重要性を伝えることができたのではないかと思う。

また、交流会では湯浅町に興味を持ってくださった方々がポスターの近くに集まり、私たちの活動や湯浅町についてさらに詳しくお話する機会を持つことができた。

●質疑応答

Q.二年間の活動の中で最も印象に残っている活動は何か。

A.最後のイベント。最後のイベントでは、これまでの商品開発の成果を湯浅町の方々に直接伝えることができただけでなく、湯浅町の住民や観光客の方々と接客を通じて交流することができた。とても楽しい時間であり、地域の方々との絆を深める良い機会となったと感じている。